



学 校 だ よ り

令和7年4月25日

東京都立石神井特別支援学校

校長 中島 由美子

若葉風の心地よき季節 先日はお忙しい中、あいにくの天候の中を全校保護者会、学年・学級保護者会へ御出席いただきありがとうございました。全校で200名近い保護者の皆様が来校され、学校全体が熱気に満ちていつも以上に活気づきました。気軽に相談できる雰囲気を大切にして、保護者の皆様と一体となってお子様の成長に働きかけてまいります。5月中旬には教育支援計画、前期の個別指導計画の作成を中心とした個人面談があります。御家庭での様子や学校への御希望なども直接お伺いし、よりよい指導や支援へ活かせるよう理解を深めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

少しずつ新しい学校生活に慣れてきた頃です。各学級の係活動や中学部の作業学習なども順調にスタートしています。自分の役割を果たすという経験は、帰属意識や安心な居場所づくり、何よりも本人の自信につながることで、将来の集団参加にも大きな力となります。キャリア教育として、児童・生徒が校内の「お仕事」にそれぞれがんばって取り組んでいます。

- ①各学級の係活動は、朝の会や帰りの会の日直、電気係やゴミ捨て係、保健カード係など。
- ②中学部3年生は、食堂で学年給食です。食後は机拭きをしています。
- ③中学部は、作業学習で校内の清掃やせっけんの補充・交換、布巾の交換などを行っています。校長室や経営企画室、各教室、トイレを挨拶しながら回ってくれています。



①ごみ捨て(色で分別)、保健カードの提出



②食堂の机拭き



③せっけんの補充、交換する布巾のたたみ、ダスター清掃

今年度は、スクールバス 12 台で児童・生徒の安全な登下校を支えています。谷原、ひばり北コースには、東京都特別支援学校アートプロジェクト展に選ばれた本校中学部の生徒の作品が掲げられ、都内を走っています。

また、毎年 4 月に行っているバス乗務員・添乗員を対象としたエピペン講習を行いました。学校医から直接お話を伺うとともに養護教諭によるエピペンの実技研修を行い理解を深めました。



【非常時のスクールバス運行に関する質問（回答）】

昨年度 1 月から災害時の備えとしてスクールバス位置情報システム（通称：どこイルカ）の保護者の方への活用を始めました。

バスの故障等を想定したスクールバス利用家庭向けの緊急メール配信訓練、そして登校に関するアンケート調査（シミュレーション）を実施しました。その際にお寄せいただいた御質問について御連絡いたします。

①バス運行再開の見込みがある場合の学校からの連絡について

⇒バス会社から状況が入り次第、Ciassi 等で保護者にお知らせします。

②保護者が直接送迎して登校する場合、学校にも別途連絡する必要がありますか？

始業前の早い時間に学校に送迎しても受け入れをしてもらえますか？

⇒アンケートで「直接登校する」を選択された方には、到着予定（見込み）時間を確認の上、緊急時の対応として午前 8 時 40 分前の受け入れも可能なように準備します。

③学校からのメールや連絡にすぐ気づくことができるのか不安です。

⇒メール連絡送信後、「開封確認」の取れない方には、電話で連絡させていただきます。

そのためにもメール連絡を御覧いただいた方は「開封確認」に御協力ください。

④実際今までスクールバスが運休するようなことはありましたか？

万が一、スクールバスの運休で欠席の場合は、通常の欠席扱いにはなりませんか？

⇒過去には、会社を出て間もなくエンジントラブルが起きた、ドアの開閉ができなくなった等は発生した際、代車を出すまでに時間がかかったり、タクシー対応となったりしたことがあります。

欠席の扱いに関しては、台風や降雪など荒天時の対応同様「出席停止」扱いとなります。どうぞよろしくお願いいたします。

スクールバス部主任 竹内 真紀

◇スクールカウンセラーへの相談について

勤務日は毎週火曜日、相談時間は 9 時から 16 時 30 分までです。対面や電話による御相談をお受けします。御希望がありましたら、火曜日に直接又は連絡帳でお願いします。